

2023年度・環境経営レポート



2024年6月22日作成

(対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日)

株式会社トチギテック

【1】 環境経営方針

株式会社トチギテック

環境方針

《基本理念》

当社の事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動をする。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う主として精密機械加工部品の製造に関する事業活動が、環境に与える負荷を考慮し、以下の環境保全活動を推進する。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー、資源循環、公害防止に配慮した活動を行い、環境に与える負荷を軽減しつつ、経営にやさしい取組を実践する。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境保全実績が継続的に改善できるように推進する。
3. 環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
4. 次の項目を環境保全の重要項目として、環境目標を設定し、必要があれば見直すなどの効果的な取組を行う。
 - ① 二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)
 - ② 廃棄物排出量削減 及び リサイクル推進
 - ③ 総排水量削減(節水)
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 地域及び顧客の満足度向上
5. この方針を達成するために、教育・訓練の実施、内部コミュニケーションの活性化により、環境保全活動に関する意識を高める。

平成31年4月1日
株式会社トチギテック
代表取締役社長 志賀野 泰孝

【2】事業概要

1. 会社概要

- ①会社名 : 株式会社トチギテック 本社工場
 ②代表者名 : 代表取締役社長 志賀野 泰孝
 ③環境管理責任者 : 管理部 部長 千賀 俊宏
 ④本社所在地 : 栃木県宇都宮市清原工業団地 7 番 2
 ⑤設立 : 2015年
 ⑥資本金 : 2,000万円
 ⑦売上額 : 約6億円
 ⑧株主 : U-TEC 他9名
 ⑨従業員数 : 56名
 ⑩地域指定 : 工業専用地域
 ⑪敷地面積 : 40,764㎡
 ⑫建物延べ面積 : 13,782㎡
 ⑬E A 2 1 対象組織 : 事業所名 : 株式会社トチギテック 本社工場
 所在地 : 栃木県宇都宮市清原工業団地 7 番 2
 敷地面積 : 40,764㎡
 建物面積 : 13,782㎡
 ⑭E A 2 1 対象外組織 : 事業所名 : 株式会社トチギテック 矢板事業所
 所在地 : 栃木県矢板市こぶし台 9
 敷地面積 : 56,100㎡
 建物面積 : 18,900㎡
- 環境管理責任者 : 千賀 俊宏
 ○連絡先 : 028-612-3191
 ○F A X : 028-612-3195
 ○メールアドレス : toshihiro.senga@u-tc.co.jp

2. 沿革

- 1954年 : 出雲産業株式会社へ社名変更
 1964年 : 富士重工業（株）宇都宮製作所と取引開始
 1977年 : 宇都宮市戸祭町より宇都宮市今宮へ移転
 1977年 : 鹿沼工場設立、操業開始
 2015年 : 株式会社 トチギテックへ社名変更
 2016年 : 本社工場設立、操業開始
 2021年 : 本社工場第1物流倉庫、竣工
 2023年 : 本社工場第2物流倉庫、竣工

3. 製品概要

- ◇航空機部品、治具
 ◇原子燃料部品
 ◇切削工具



RB-300F (新日本工機製)



INTEGREXe-420H-S (マザック製)

4. E A 2 1 対象範囲 : サイト認証

- ◇対象組織 : 本社工場
 ◇事業活動 : 精密部品・航空機部品・治具・原子燃料部品・切削工具等の加工、倉庫業

5. 事業形態

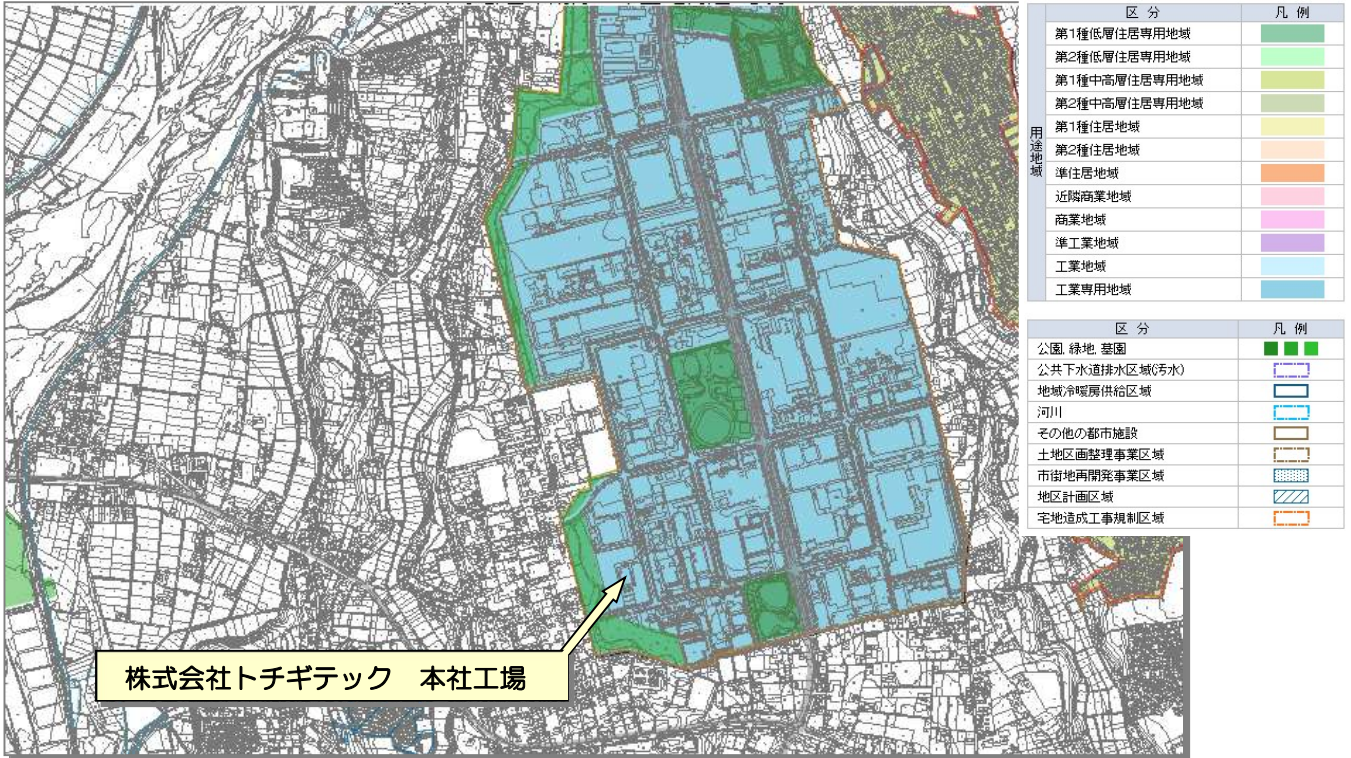
- (1) 事業年度 : 4月～翌年3月
 (2) 年間稼働日数 : 240日
 (3) 就業形態 : 1シフト
 (4) 就業時間 : 8:30～17:35
 (午前・午後各10分休憩 実働8時間労働)

6. 敷地概要

◇都市計画法での用途地域指定：工業専用地域

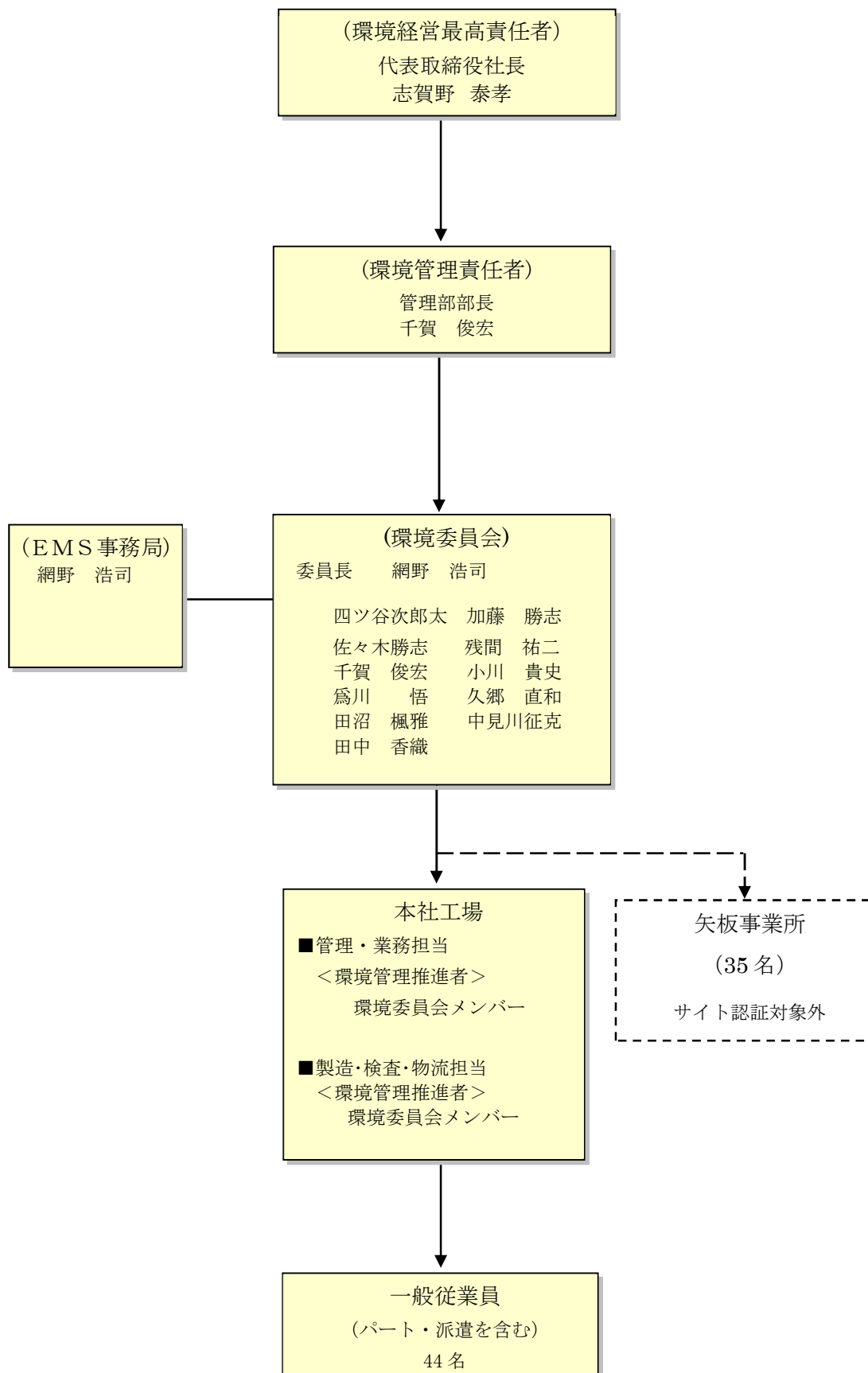
◇栃木県生活環境の保全等に関する条例での指定区域：工業専用地域

本社工場地図



7. エコアクション21実施体制の構築

EMS運営組織図



EMS運営組織役割分担表

担当者	役割、責任及び権限
社 長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム（EMS）の最高責任者 ・環境方針を定める。また必要に応じ見直す ・EMSの見直し（マネジメントレビュー）を行う ・要員（人材）、設備、資金等の資源を経営上対応可能な範囲で用意する ・環境管理責任者を任命する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・EMSを構築し、運用し、維持する責任と権限を有する ・環境委員会を運営する ・環境方針、環境目標に沿って全社の環境活動計画書を作成する ・「環境関連法規制等取りまとめ一覧表」を作成し、最新状態を維持する ・EMSの実施状況を社長に報告する ・環境に係わる教育訓練を推進する ・環境マニュアル、手順書等の文書を維持管理する ・緊急事態の事前テスト、訓練を計画し実施する ・環境に関する行政機関対応の責任者
EMS事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者をサポートし、EMSを推進する ・社外からの環境に関する苦情や要望の受付・記録する ・法規制等の外部文書の保管、該当する記録の管理
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の環境への負荷、環境への取組みを自己チェックし、当社の“重要な環境影響を及ぼす環境側面”を抽出する ・当社の全般的な環境問題を検討し、対応を方向付ける
環境管理推進者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会のメンバーとし、且つ自部門のEMSを推進する
一般従業員 (パート・派遣を 含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境方針・環境目標・環境活動計画書に基づいて、各職場で環境活動を推進する

【3】環境経営目標とその実績

事業年度 2023.4月～2024.3月

項目	単位 (加工高比)		基準年度	目標値／実績			
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	目標率	—	-1%	-2%	-3%	
		目標値	加工高比	3,052	2,339	2,315	2,291
			総量(kg-CO ₂)	947,027	699,232	692,169	685,106
		実績値	加工高比	2,362	1,882	1,438	1,573
			総量(kg-CO ₂)	706,295	635,362	688,657	857,461
資源エネルギー使用量の削減(電気使用量の削減)	kwh/百万円	目標値	5,871	4,475	4,430	4,384	
		実績値	4,520	3,604	2,776	3,046	
車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	ℓ/百万円	目標値	(ガソリン)	28.31	24.22	23.97	23.73
			(軽油)	8.10	8.65	8.57	8.48
		実績値	(ガソリン)	24.46	17.66	11.27	12.89
			(軽油)	8.74	8.11	4.88	3.24
廃棄物排出量削減		目標率	—	-1%	-2%	-3%	
一般廃棄物の削減 (可燃ごみ等の削減)	kg/百万円	目標値	5.10	16.06	15.9	15.73	
		実績値	16.22	6.22	4.83	8.90	
産業廃棄物の削減 (廃油・廃プラ等の削減)	kg/百万円	目標値	19.69	20.49	20.29	20.08	
		実績値	20.70	15.27	15.28	10.54	
省資源		目標率	—	-1%	-2%	-3%	
総排水量の削減	m ³ /百万円	目標値	5.20	5.04	4.99	4.94	
		実績値	5.09	2.58	3.50	3.56	
グリーン購入品の推進及び コピー用紙購入量の削減	枚/百万円 (A4換算)	目標値	597	212	210	208	
		実績値	214	130	121	70	
製品の環境性能の向上 及びサービスの改善	不良率 (%)	目標率	—	-1%	-2%	-3%	
		目標値	—	0.310	0.307	0.304	
		実績値	0.135	0.162	0.161	0.179	
5S活動と環境保全活動	評価点 (100点満点)	目標率	—	+1点	+2点	+3点	
		目標値	84点	85点	86点	87点	
		実績値	84点	85点	88点	91点	

*二酸化炭素排出量について(購入電力排出係数は 0.505kg - CO₂/kwhを使用する)

*化学物質使用量は、少量であるので、環境経営目標を策定しない。

【4】 主要な環境経営計画の内容

事業活動における環境への負荷を低減するために、従業員一同が取組んでいる主な環境活動内容は以下の通りです。

1. 活動内容

事業年度: 4月～翌年3月

項目	推進担当者	実行責任者	2023年度
			計画及び実行内容
二酸化炭素排出量削減			
資源エネルギー使用量の削減（電気使用量の削減）	各部署 全員	網野	<ul style="list-style-type: none"> 省エネパトロールの実施 エアコンの温度管理と未使用場所の電源OFFや外気温に応じた適正運転 照明の間引きや未使用場所の消灯等の照明設備の電源管理 トイレ・手洗い場等の温水設備を冬季以外の使用禁止 帰宅時にPCのプラグをコンセントから抜く
車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	各部署 全員	渡邊	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10か条によるエコドライブの実施 納品回数を減らすことで車両の使用回数を減らす 宅急便や定期便の利用
廃棄物排出量削減			
一般廃棄物の削減（可燃ごみ等の削減）	各部署 全員	網野	<ul style="list-style-type: none"> 分別による資源物化や再利用により排出量を削減 通い箱使用の継続 廃棄物パトロールの実施
産業廃棄物の削減（廃油・廃プラ等の削減）	各部署 リーダー	網野	<ul style="list-style-type: none"> 分別による資源物化や再利用により排出量を削減 通い箱使用の継続 廃棄物パトロールの実施 排出回数の平準化
省資源			
総排水量の削減	全員	網野	<ul style="list-style-type: none"> 節水掲示による節水意識の向上
グリーン購入品の推進及びコピー用紙購入量の削減	全員	田中	<ul style="list-style-type: none"> 保管書類のPDF化を推進してコピー枚数を減らす コピー用紙の裏面再利用等の実施 定期的に印刷枚数を配信し使用枚数を周知・把握 グリーン購入品を優先購入する
製品の環境性能の向上及びサービスの改善	各部署 リーダー	網野	<ul style="list-style-type: none"> 作業効率の向上による不良率の低減 不良の要因分析と対策実施 人材の育成
5S活動と環境保全活動	各部署 リーダー	改善事務局	<ul style="list-style-type: none"> 5Sパトロールの実施 工場周辺道路の清掃活動実施 工場敷地内草花植栽活動実施

2. 実施状況



避難訓練



消火訓練



工場周辺清掃活動



正門周辺に草花植栽



オートストップ水栓



使用后照明を消灯

【5-1】環境経営計画の取組結果の評価及び見直し

2023年度加工高：543（単位：百万円）

項目	目標値 (加工高比)		取組結果(2023年度)					達成: 経過観察: 是正:△ 正:×	
			4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間		
二酸化炭素排出量削減	BM比 99%	目標値	2,291	2,291	2,291	2,291	2,291	○	
	Kg-CO ₂ /百万円	実績値	1,342	1,874	1,382	1,694	1,577		
		達成率	170.71%	122.25%	165.77%	135.2%	145.3%		
資源エネルギー使用量の削減 (電気使用量の削減)	Kwh/百万円	目標値	4,384	4,384	4,384	4,384	4,384	○	
		実績値	2,568	3,269	2,670	3,284	3,046		
		達成率	170.71%	134.10%	164.19%	133.49%	143.92%		
車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	L/百万円	目標値	32.21	32.21	32.21	32.21	32.21	○	
		実績値	18.93	17.38	13.95	14.91	15.00		
		達成率	170.15%	185.32%	230.89%	216.02%	214.73%		
〔評価〕	コロナ過の規制が終わり、7月より一部勤務体系が4勤2休となり稼働時間が伸びたが、目標達成出来た。その他については、エコドライブや宅急便利用による車両燃料使用量の削減、省エネパトロール等により目標を達成できた。								
〔社長コメント〕	省エネ対策と各人の省エネ活動により大きな成果が得られました。今後も省エネ活動を継続し目標達成に向け取組んでください。								
廃棄物排出量削減	BM比99%		取組結果(2023年度)					達成: 経過観察: 是正:△ 正:×	
	kg/百万円		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間		
		目標値	15.73	15.73	15.73	15.73	15.73		
一般廃棄物の削減 (可燃ごみ等の削減)		実績値	5.10	7.93	14.56	7.12	8.67	○	
産業廃棄物の削減 (廃油・廃プラ等の削減)	kg/百万円	目標値	20.08	20.08	20.08	20.08	20.08		○
		実績値	22.84	0	20.62	0	10.86		
		達成率	87.91%	-	97.38%	-	184.89%		
〔評価〕	分別による資源化や再利用、通い箱の使用、廃棄物パトロール等により目標を達成できた。また、5S活動により作業環境が向上し廃棄物量の削減にも貢献した。								
〔社長コメント〕	再利用や分別等による活動で廃棄物排出量削減が進み大きな成果になりました。これを継続していくことが重要であり、その活動が大きな力になることを期待します。								
省資源	BM比99%		取組結果(2023年度)					達成: 経過観察: 是正:△ 正:×	
	m ³ /百万円		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間		
		目標値	4.94	4.94	4.94	4.94	4.94		
総排水量の削減		実績値	3.43	3.26	3.81	3.66	3.54	○	
グリーン購入品の推進及びコピー用紙購入量の削減	枚/百万円	目標値	208	208	208	208	208		○
		実績値	323	0	0	0	80.75		
		達成率	64.39%	-	-	-	173.55%		
〔評価〕	裏面利用によるコピー用紙購入量の削減や書類のPDF化で目標を達成できた。またコピー用紙のまとめ購入による単価引下げで環境経営にも貢献できた。								
〔社長コメント〕	目標に対し大幅に削減ができたことは日頃の省資源活動の成果です。削減だけではなく購入価格にも意識を向けたことで今後の多角的な活動に期待します。								

項目	目標値		取組結果(2023年度)					達成: 経過観察: 是正:×
			4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	
製品の環境性能の向上及びサービスの改善	不良率%	目標値	0.304	0.304	0.304	0.304	0.304	○
		実績値	0.135	0.162	0.161	0.257	0.178	
5 S活動と環境保全活動	評価点 (100点満点)	目標値	87点					○
		実績値	92点					
〔評価〕	5S活動による作業環境の向上や作業工程改善による作業の効率化によって不良率を下げる事ができた。これを維持し更なる改善に繋げていく。							
〔社長コメント〕	作業工程改善による効率アップで生産性を上げ不良率を下げる良い結果となりました。これを維持し来期に繋げてください。							

* 二酸化炭素排出量について（購入電力排出係数は 0.505kg - CO2/kwhを使用する）

【5-2】環境経営計画の取組結果の評価と次年度の取組み

項目	目標値 (2023年度B M比に対し て2024年度 削減目標)	評価 (2023年4月1日～2024年3月31日)	見直し及び取り組み内容 (2024年4月1日～2025年3月31日)
二酸化炭素排出量の削減	-1%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の省エネパトロール実施。 ・エアコンの温度設定と外気温に応じた外気の取入れや未使用場所の電源OFF等の適正運転実施、照明の間引きや未使用場所の消灯と手洗い場にある温水設備の冬季以外の使用禁止等により電力使用量の削減ができた。 ・エコドライブ10か条によるエコドライブの実施と宅急便や定期便の活用等で納品回数が減少し車両燃料消費量の削減ができた。 ・年間を通して二酸化炭素排出量を削減し目標を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の省エネパトロール。 ・エアコンの温度設定と外気温に応じた適正運転。 ・照明機器の電源管理。 ・退勤時にPC電源OFFにしてコンセントからプラグを抜く。 ・温水器の冬季以外の使用禁止と使用頻度の低い温水器の使用を抑える。 ・エコドライブの実施。 ・車両の使用回数を減らす。
資源エネルギー使用量の削減（電気使用量の削減）	-1%		
車両燃料使用による二酸化炭素排出量削減	-1%		
廃棄物排出量削減	-1%	<ul style="list-style-type: none"> ・分別による廃棄物の資源化、通い箱の使用による梱包資材の削減、梱包材の再利用等で廃棄物の排出量を削減できた。 ・廃棄物パトロールの実施。 ・排出回数年2回を継続できた。 ・年間を通して廃棄物排出量を削減し目標を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別による資源物化促進。 ・梱包資材の再利用。 ・通い箱の使用拡大。 ・廃棄物パトロール。
一般廃棄物の削減（可燃ごみ等の削減）	-1%		
産業廃棄物の削減（廃油・廃プラ等の削減）	-1%		
省資源	-1%	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知により節水意識が向上した。 ・保管書類のPDF化やコピー用紙の裏面再利用、毎週の印刷枚数の配信等により使用枚数意識が高まりコピー購入量が削減できた。 ・コピー用紙の一括購入実施。 ・グリーン商品の優先購入を周知。 ・年間を通して省資源の目標を達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布・保管書類のPDF化。 ・コピー用紙の裏面利用と両面印刷。 ・印刷の使用枚数を定期配信。 ・節水の周知。 ・グリーン商品の優先購入。
総排出量の削減	-1%		
グリーン購入品の推進及びコピー用紙購入量の削減	-1%		
製品の環境性能の向上及びサービスの改善	-1%	<ul style="list-style-type: none"> ・5Sによる作業環境の改善、不良要因分析による対策、工程改善による作業効率の向上で不良率が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業効率の向上 ・不良要因の分析と対策。
5S活動と環境保全活動	92点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の5Sパトロールの実施。 ・毎月の工場周辺道路の清掃活動と工場敷地内の草花植栽の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の5Sパトロール。 ・毎月の工場周辺道路の清掃活動。 ・工場内美化運動。

【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法規等の名称	適用内容	規制基準値、その他	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板掲示（60cm以上）	○
	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	契約書・業者の許可証	
	委託契約書の保管	5年間保管	
	マニフェストの管理・保管	5年間保管	
	マニフェストの管理表の市への届出	毎年6月末日まで	
騒音規制法 （栃木県生活環境保全条例）	特定施設からの騒音に関する規制基準の遵守及び施設の届出（第4種区域）	特定施設 ・空気圧縮機：4台	○
振動規制法 （栃木県生活環境保全条例）	特定施設からの振動に関する規制基準の遵守及び施設の届出（第2種区域B）	特定施設 ・空気圧縮機：4台	○
消防法	危険物貯蔵所の点検・数量確認及び設置の届出	指定数量の5分の1以上及び指定可燃物は『貯蔵取扱届出書』が必要	○
労働安全衛生法	安全部会体制 安全衛生推進者・安全管理者の選任	毎月1回の安全部会	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品	3ヶ月に1回の簡易点検	○
浄化槽法	浄化槽	月1回の保守点検	○

1. 遵守状況 : 社内における遵守評価の結果、上表に示すとおり法の逸脱はありません。
2. 更新時期 : 毎年4月に実施します。
3. 苦情等の有無 : 外部からの苦情は、創業以来ありません。
4. 提訴等の有無 : 関係当局からの指摘及び利用関係者からの訴訟は、創業以来ありません。

【7】代表者による全体の評価・見直し

項 目	評 価 (2023年4月1日～2024年3月31日)	見直し及び取り組み内容 (2024年4月1日～2025年3月31日)
代表者による全体の評価・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度は一部を除き目標を達成しており、大きな成果が出ている項目もあることから環境活動が活発に行われていたことが伺えます。1年間ご苦勞様でした。 ・個別にみると廃棄物排出量の削減については分別や梱包材の再利用、通い箱の使用等で目標に対して44%の削減という大きな成果となりました。 ・省資源については節水の周知や書類のPDF化・裏面利用等により大幅な削減ができました。また、昨年同様一括購入による購入価格引下げに対応できたことは大きな成果です。 ・不良率については不良の要因分析と対策及び5S活動による作業環境の向上により作業効率が上がり不良率の減少となりました。 ・周辺道路の清掃作業や敷地内の美化運動等により環境保全活動への貢献ができました。 ・次年度は新たな目標を掲げる年です。目標達成に向けた環境活動に取り組んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の継続 ・環境目標の継続 ・環境対策の実施